

これは昭和 39 年（1964 年）発行の、東京オリンピック記念 100 円硬貨です。東京オリンピック開催を記念して発行された、日本初の記念貨幣として知られています。表面には五輪マークと聖火台が描かれ、まさに高度経済成長期の日本が世界に向けて踏み出した象徴のような一枚です。

現在国内で流通している硬貨は銀色に見えても、実際にはニッケルや銅などを用いた合金であり、「銀貨」ではありません。しかしこの記念硬貨は本物の銀を含む銀貨です。とはいえ純銀ではなく、銀 60%・銅 30%・亜鉛 10%の合金で、いわば「準銀貨」と言えます。

硬貨の重さは 4.8g なので、銀の含有量は約 2.88g となります。現在の銀地金価格が税込みで 1g あたり約 450 円だとすると、銀としての素材価値はおよそ 1300 円ほどになります。もちろん現行貨幣として法的に有効で、100 円として使用することも可能です。しかし地金価値が高いからといって鋳つぶしてしまうのは法律違反です。60 年前の貴重な記念硬貨として、歴史の重みを感じながら大切に保管しておきたいですね。

